

枚方市立招提北中学校

SDGs サミット

2020



テーマ

今、私たちにできること
～気づき、つながり、創り出す～

2020年2月17日 (月)

はじめに

本校の3年生では、「総合的な学習の時間」の3年生の目標である「自己創生」学習の一環として、**「SDGs」を手がかりに「持続可能な開発」のために「今、自分たちにできること」**をテーマに、下記の通り取り組んできました。

1. 目的

- ① 「SDGs」に向けて、「今、自分たちにできること」を考え、「未来を切り拓き、創り出す力」をつける。
- ② 「自己創生～自ら自分の生き方を創り出す～」の手がかり（キャリア）を見出す。

2. これまでの学習の流れ（取り組み過程）

時期	内容	備考
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の公民の授業で「G20」「SDGs」について知る。 ・「SDGs」について、各自で興味・関心のあるテーマについて調べる。 ・自分が取り組んでいきたい「SDGs」のゴールを選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・unicefの「SDGsをナビにして」の利用。 ・3年フロアにクリアファイルの設置
夏休み (7・8月)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの課題として、 ①「企画書レポート」②「JICAエッセイコンテスト」 ③「情報カード」の作成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談日の設定
9月2日	◎「報告会をしようⅠ」（ポスターセッション）	<ul style="list-style-type: none"> ・三宅貴久子先生による今後の取り組みの方向性（3年生全員に）のお話と職員研修の実施
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・各テーマごとに分かれ、「情報共有」と「グルーピング」を行っていく。 ・各グループでの「アクションプラン（行動目標）」を明確にしていく。 	
10月～ 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループのテーマまたは「アクションプラン（行動目標）」に基づいて、外部団体等とつながっていく。 ・各外部団体の活動目標や取り組みなどの情報を共有し、各「アクションプラン（行動目標）」を具体的なプランに作りかえていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「JICA」・「NGO」・「NPO」など外部団体に協力をお願いする。
12月6日	◎「報告会をしようⅡ」（中間発表） ・ポスターセッション	<ul style="list-style-type: none"> ・グルーピングのために
冬休み (12・1月)	◎各プロジェクト（アクション・プラン）の実施 ・実際に「SDGs」達成に向けて、今、自分たちにできること「アクションプラン」に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への協力依頼 ・懇談期間中、冬季休業中を利用して実施
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組んだことの振り返りを行う。 ・お互いの活動報告会・交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施報告書の作成
2月17日	◎「SDGsサミット2020」の開催 ・「SDGs」達成に向けて、今、自分たちに「できたこと」「できなかったこと」を様々な関係者を共有し、改めて今後の活動の方向性を模索する。	<ul style="list-style-type: none"> ・協力していただいた外部団体関係者や地域の方々、保護者などを招く。

このような約半年にわたる取り組み過程を経て、これまでの各プロジェクトの活動を振り返るとともに、自分たちが生きていくこれからの社会の持続可能な開発のための継続的なプロジェクトの在り方を改めて検討するための「枚方市立招提北中学校 SDGs サミット2020」を開催する運びとなりました。

※なお、これまでの取り組みの詳細は、本校HPをご覧ください。

本校HP・URL→<https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000008047.html>

「枚方市立招提北中学校 SDGs サミット 2020」について

<テーマ>

今、私たちにできること
～ 気づき、つながり、創り出す～

1. 目的
自己を見つめ、持続可能な社会や将来とのつながりを考え、自己の生き方を創り出す。

<具体的な目標>

- ①各プロジェクトの振り返りを行い、更なる具体的なプロジェクトの発展・継続の方向性を探究する。
- ②各プロジェクトの共有・拡大を図る。
- ③学校全体で SDGs に取り組んでいく具体的な方策を模索する。

2. 日時
令和2年2月17日(月) 13:30～16:30

3. 場所
本校の各教室および体育館

4. 時程

時間	内容	場所	備考
<開会式>			
13:30～ (10分)	開催のあいさつ サミットの全体説明	体育館	・一度、全員が体育館に集合。 ・全体説明のときに、3年生は各教室準備。
13:40～ (5分)	各分科会へ移動		※各分科会の会場は下記参照
<第1部 活動報告会(現状共有)>			
13:45～ (45分)	各プロジェクトの活動報告 ① 活動目的 ② 成果と課題 ③ 質疑応答	各教室	◎各プロジェクトに対しての様々な意見・感想をお聞かせください。
14:30～ (10分)	休憩・第2部の準備		
<第2部 協議会(将来展望)>			
14:40～ (45分)	各プロジェクトに対する意見交流・情報共有 ① 現在の課題・検討事項の確認 ② 今後の方向性	各教室	◎SDGsの達成に向けて、持続可能な身近な取り組みを皆さんで真剣に考えていきましょう!
15:25～ (15分)	体育館へ移動 全体会の準備		・3年生は各分科会での内容を報告できるようにまとめておく。
<全体会>			
15:40～ (30分)	各分科会での成果報告 サミット全体の感想等	体育館	・全員、体育館に集合。 ◎初めて中学生主催で行った「SDGsサミット」についての感想や意見をお願いします。
<閉会式>			
16:20～ (10分)	閉会のあいさつ		
16:30	(終了予定)		

5. 各分科会の詳細

分科会		関連プロジェクト番号・テーマ	関連キーワード
A	 <p>Let's Eliminate Poverty ～飢餓をなくして、すべての人に健康と福祉を～ 場 所： 1F 3年3組教室 ゲスト： 大阪ユニセフ協会員 他</p>	1 貧困をなくそう	unicef 募金 貧困
		2 Smile プロジェクト ～SDGs をより多くの人に知ってもらい、1人1人が協力し、世界中の人々を笑顔で暮らせる毎日～	フードバンク 貧困 飢餓 unicef 食品ロス 笑顔
		3 すべての人に健康と福祉を	unicef スマイル作戦 NGO・NPO 貧困
B	 <p>教育・貧困のための募金活動 場 所： 1F 3年2組教室 ゲスト： 2019年度 少年少女国連大使 大阪府立牧野高等学校長 他</p>	4 貧困への意識改革	貧困 UNHCR
		5 50000円への旅 ～街頭募金を行い、50000円の価値を考え直す～	児童労働 貧困 教育 ACE
		6 世界の子どもたちの教育のための募金	unicef
C	 <p>つなげる ～飢餓と食品ロスを減らすために～ 場 所： 1F 3年1組教室 ゲスト： 子ども食堂関係者 フードバンク関係者 枚方市おいしい給食課担当者 他</p>	7 無駄なきゴハン Part1. ～食品ロスをつなげる～ Part2. ～給食の食品ロスを減らす～	食品ロス 子ども食堂 企業 フードドライブ 給食
D	 <p>すべての人々を救うために、私たちは立ち上がる！！ 場 所： 1F English 2 ゲスト： 「世界の子どもにワクチンを」代表者 JICA 関西職員 他</p>	8 ヤクルトの商品で健康を守る	ヤクルト 腸
		9 すべての人に健康と福祉を！！	難病 病気 苦しんでいる人たちのために
		10 世界の貧困	JICA 青年海外協力隊 飢餓
		11 すべての子どもにワクチンを	救う ワクチン 命
E	 <p>LOVE BEYOND GENDERS ～LGBTの権利を守るために～ 場 所： 3F 少人数2 ゲスト： 枚方市人権政策室担当者 他</p>	12 LGBTsの人達の気持ちを少しでも理解するための情報を集める。	LGBTs 差別
		13 LOVE BEYOND GENDERS ～LGBTの権利を守る～	不平等 LGBT 差別
F	 <p>科学と地球のあり方 場 所： 3F 視聴覚2 ゲスト： JICA 青年海外協力隊員 他</p>	14 科学と貧困 ～ときどき経済～	ICT 技術革新 経済発展 貧困
		15 持続可能な自然と人類のあり方	地球 人類 救済 電気エネルギー
G	 <p>地球を救うヒーローになろう！！ 場 所： 3F English 1 ゲスト： 枚方市環境保全課職員 他</p>	16 節電の重要性をポスターを使って広める	地球温暖化、 気候変動
		17 未来のために海や陸の豊かさを守ろう！	海 陸
		18 脱プラ life へいそげ！！ ～私たちに今できる事を知り、プラスチック削減に繋げる～	3R+Renewable、 Plastics Smart
H	 <p>地球の豊かさを守ろう！！ 場 所： 4F 視聴覚1 ゲスト： 枚方市環境保全課職員 他</p>	19 自分たちにできることを知ってもらう	地球温暖化 生物の絶滅
		20 世界の豊かさを守ろう	リデュース リサイクル 生物の絶滅
I	 <p>身近な環境の改善から子どもたちを救う 場 所： 4F 少人数1 ゲスト： 大阪ユニセフ協会員 他</p>	21 ONE TEAM ～失われた過去を取り戻そう～	地球温暖化 募金
		22 Two Goals 1. ゴミ収集できれいな街を取り戻す 2. ゴミの換金で得たお金で世界の医療を支援する	地方公共団体 寄付

6. 各分科会の会場案内

教室棟										
	1年3組	1年2組	1年1組	視聴覚1 H	男 W C	女 W C			少人数1 I	4F
	2年2組	2年1組	少人数2 E	視聴覚2 F	男 W C	女 W C			English1 G	3F
	情報処理室		心の教室	支援学級1			女 W C	男 W C	支援学級2	2F
	3年3組 A	3年2組 B	3年1組 C	English2 D	男 W C	女 W C	女 W C	男 W C	支援学級3	1F

7. その他

- ・サミット中の各分科会への出入りは自由です。
- ・写真撮影などはしていただいても結構ですが、SNSやHPなどへの掲載はご遠慮ください。
- ・ぜひ、忌憚のない様々なご意見・ご感想をお聞かせください。

※中学生が初めて自分たちで主催するサミットとなっておりますので、多少の失礼があるかもしれませんが、温かく見守っていただければ幸いです。



各分科会

および

各分科会 関連プロジェクト

紹介



【分科会テーマ】

Let's Eliminate Poverty

～ 飢餓をなくしてすべての人に健康と福祉を～

【詳細】

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を

私たちはこの3つのテーマについて考えています。元々3つのグループだったのですが、1つのグループになり、主に「貧困」に視点を向けて活動しています

↓ なぜ貧困??
まずは飢餓と福祉の原因である貧困を解決するため。

【活動報告会について】 (パワーポイントによる報告)

- 活動報告会の流れ
 - SDGs 1~3 を選んだ理由
 - 飢餓について
 - 福祉について
 - 貧困について
 - 募金 (ユニセフ) について (説明, 結果, 振り返り)
 - まとめ

【協議会について】

○ 協議する内容

「募金」について

- 募金で本当に貧困が解決するのか
- もっと協力してくれる人を増やすためには...?

より深く考え、どう改善していくのか、何が課題なのかを明確にして、これからにつなげていこうと思っています。

【ゲスト】 大阪ユニセフ協会より

【備考欄】 実際に行った募金活動もふまえて、

貧困について深く考えていきます。ぜひ来てください!

共に「これから」につなげていきましょう。

<各プロジェクト紹介>

Project Number :

1

【SDGs】



【プロジェクト名】

貧困をなくそう

「SDGs 1 貧困をなくそう」
をテーマにして活動しています!

【具体的な内容】

☆ 貧困について調べようと思った理由

貧困の子供たちを助けたいと強く思ったから
SDGsの様々な問題のスタートだから

☆ 今までの活動

福祉チームと協力して樟葉モールでユニセフの募金活動

↳ 樟葉 → 89,580円

大阪府下 21か所 → 1,247,450円

☆ 課題

ユニセフ募金を通して「若い人のスルー」などが目立ち、
中からの募金について考えていく必要がある

【関連キーワード】

ユニセフ、募金、貧困

【備考欄】

どうすれば「貧困は解決するのか」一緒に考えましょう!

<各プロジェクト紹介>

Project Number :

2

【SDGs】



【プロジェクト名】

Smileプロジェクト

～SDGsをより多くの人に知ってもらい、1人1人が協力し、
世界中の人々が笑顔で暮らせる毎日へ～

【具体的な内容】

なぜこのテーマにしたのか??

↳ 飢餓が最も他のSDGsの問題を作っている元であり、原因だと
考え、飢餓人口を減らしていきたいと思ったから。

これまでの活動とこれから

↳ 飢餓を無くしていく為にどうしていくべきか深く探究してきました
受験が終わり次第スーパースタにポスターを設置予定(店側にアホは取り済み)

課題

↳ 飢餓を減らしていくには、まずは「食品ロス」を減らしていく
ことが大切(なぜ食品ロスを減らせば飢餓が減るのかはサミットで詳しく説明
します。)

SDGsを知らない人がまた「また」沢山居るので、もっと広め、協力を
呼びかける。

【関連キーワード】

フードバンク、貧困、飢餓、ユニセフ、食品ロス、笑顔

【備考欄】

興味がある人は是非来てね♡

<各プロジェクト紹介>

Project Number :

3

【SDGs】



【プロジェクト名】

すべての人に健康と福祉を

【具体的な内容】

○ 今までの活動

- ・ 最初に調べた団体 → NGO
- ・ ⇒ 範囲が広すぎて失敗へ気がき
- ・ たくさんの団体が"ある中で"
"スマイル作戦"について調べた
- ・ ⇒ 視野が広すぎて、自分たちにできることが見つけられなかった
- ・ → その原因は"貧困"なのかも...
- ・ → ユニセフ

✪ 国を選んだ理由 ✪

将来の夢が"看護師"と共通している、国の項目が"一番関連深い"と思い、将来に向けてもっとも福祉・健康について知るために現在の医療の課題を調べようと思ったからです。

【関連キーワード】

ユニセフ、スマイル作戦、NGO、貧困

【備考欄】

貧困、福祉についてもっと深く、より追求したい方、ぜひ、一緒に考えて"少しでも一歩を踏み出してみませんか？"

分科会 B

会場：「1F 3年2組教室」

【分科会テーマ】



教育・貧困のための募金活動

【詳細】

実際に募金活動をした中学生の正直な感想を報告します。
教育・貧困の現状や取り組み・団体などについて報告します。

【活動報告会について】

3グループが準に報告します。各20分ほど。

プロジェクトナンバー 5
↓
6
↓
4

【協議会について】

スイスジュネーブにも行った少年少女国連大使の中学生が意見や経験してきたこととお話してくれます。

これからわたしたちにできることを話し合い、していくことを決定しようと思います。

【ゲスト】 2019年度 少年少女国連大使、大阪府立牧野高等学校校長

【備考欄】 同じ中学生のゲストとの協議会ほども面白く有意義な時間となると思うので来てみてください！

<各プロジェクト紹介>

Project Number :

4

【SDGs】



【プロジェクト名】

貧困への意識改革

【具体的な内容】

テーマを選んだ理由

・ 様々な問題を解決するにも、貧困はついてきます。SDGsでは17の目標がありますが、その目的を解決するには、貧困の解決が一番大事だと思っただからです。

・ 樟葉駅での募金活動(UNHCRに全額募金)する

①課題 → 身近な人からの貧困への意識の改革

常に貧困の人達のことを考え、まだづかいを極力減らすように
尽力すること。

・ 私達は募金活動を行ったので、感想などを中心に発表します。

【関連キーワード】

貧困、UNHCR

【備考欄】

少しでも興味のある方は、ぜひ来てくださり。

<各プロジェクト紹介>

Project Number :

5

【SDGs】



【プロジェクト名】

50000円への旅

～街頭募金を行い50000円の価値を考え直す～

【具体的な内容】

- ・子どもや教育に興味があり、調べていくうちに貧困が深く関わり、苦しんでいる子どもたちがいることを知りました。
特に社会の授業で見た動画で、児童労働で小学校に行けずごみから拾ったボールペンを大切に使う子が印象に残り、児童労働について調べ始めました。
- ・児童労働を助ける団体 ACE さんに寄付するため樟葉駅で街頭募金を行いました。
目標金額50000円を設定して、活動を行う前と後で変わった私たちの価値観を発表します。

【関連キーワード】

児童労働、貧困、教育、ACE

【備考欄】

人生初の街頭募金の活動で感じたことを伝えます。
貧困教育に興味がある人は是非来てください！

<各プロジェクト紹介>

Project Number :

6

【SDGs】



【プロジェクト名】

世界の子どもたちの教育のための募金

【具体的な内容】

このプロジェクトを始めた理由は、社会の時間に世界の子どもが貧困でしかも、子どもが働かないといけなかったりして、学校に行けないのを見て、日本に住んでいる私たちが学校に行けていることが幸せだということに気づき、その子どもたちも学校に行けるようになってほしいという思いからです。

これまでの活動はくずは駅周辺で募金活動をして、それから大阪ユニセフの交流会に参加して、贈呈式を行いました。世界のこどもの教育のためにだれでもかんたんに関わり続けるようなことなどについて話していきたいです。

【関連キーワード】

UNICEF

【備考欄】

【分科会テーマ】

つなげ"る

～ 飢餓と食品ロスを減らすために～



【詳細】

「食品ロスを減らしたい!」というグループと
 「飢餓を減らしたい!」というグループが合流し、2つの目標を
 つなげて取り組んでいます。
 子ども食堂に行ったり、企業に直接お話をうかがったりして、
 自分たちができることを考えています。

【活動報告会について】

- ・一番最初、うつに分かりやすいグループがなぜつなげたのか
- ・私たちの身近な中学校の給食の食品ロスについて
(招提北中学校の食品ロスの現状など)
- ・スーパーや企業の食品ロスの現状
- ・私たちから子ども食堂に行き、何をしたいのか
- ・身近な企業と子ども食堂をつなげる(「くらこ」など)

【協議会について】

- ・学校の給食の食品ロスを減らすために取り組むこと
- ・スーパーや工場などから出る食品ロスや消費期限切れ(ギリギリ)
などの食品を捨てずには子ども食堂などにつなげる
ルートを作る



【ゲスト】 子ども食堂関係者、フードバンク関係者、枚方市おいしい給食課

【備考欄】

食品ロスや飢餓のどちらかでも興味がある人はぜひ来てください。

<各プロジェクト紹介>

Project Number : 7 part 1

【SDGs】		
【プロジェクト名】 無駄なきごはん ～食品ロスをつなげる～		
【具体的な内容】 2番の目標にした理由 社会の時間に飢餓で苦しんでいる人がいることを知り「世界の飢餓」について調べてみました。その中で「身近な飢餓」があることを知り子ども食堂にいきました。 ----- ・子ども食堂に行ったこと ・子ども食堂について知ったこと ・くらこんさんに行って聞いたこと ----- 協議会について ・企業に聞いたことから私たちが何ができるのかを協議したいと思っています。		
【関連キーワード】 子ども食堂 フードドライブ 企業		
【備考欄】 私たちは企業からでてもらう食品ロスをどのようにしたらつなげられるかを考え行動しています。 興味がある方はぜひきてください。		

<各プロジェクト紹介>

Project Number : 7 part 2

【SDGs】



【プロジェクト名】

無駄なきごはん

～給食の食品ロスを減らす～

【具体的な内容】

12箇の目標にした理由

日ごと、大量に余っている給食の食品ロスなどについて気になっていて日本の食品ロスが多いことを知り、少しでも減らしたいと思ったから。

- ・私たちの身近な給食の食品ロスについての現状を一週間調査しました。(招提北中学校の)
- ・給食の食品ロスについて、アンケートをとったり、そのアンケート結果をふまえて私たちにできる解決策を考えています。
- ・他の企業にも余っている物をどうしているのか聞いたりしました。(給食の)
- ・協議会では、食品ロスをなるべく減らせるように話し合いたいと思います。

【関連キーワード】

食品ロス、給食、フードドライブ

【備考欄】

食品ロスや学校の給食のロス等について意見があったり少しでも興味がある方は、ぜひ来てください。

【分科会テーマ】



すべての人々を救うため
私たちは立ち上がる!!

【詳細】

- ・自分たちは福祉について調べていて、インターネットで調べるとヤリルトさんが福祉への活動に力を入れていることが。
- ・私は、世界中で苦しんでいる人々を救うために病気や難病について調べて、少しでも速くおこなうように活動しています。
- ・自分たちも少しでも多くの子供たちを救いたいと思ったから。

【活動報告会について】

難病や病気などで臓器提供を待っている人々の話
募本箱で集まった物で何人の命を救えたか、まず「すべての子どもに7777円を」とは...
ヤリルトを通じて臓器などの便知を知って、そこから活動力を考える。

【協議会について】

- ・世界の子と違のために自分達以外で稼ぐ事。
- ・現実では、貧困の人々のためにどのくらいの人々が動いているのか。どうすれば世界全体の人たちに行動してもらえるのか。
- ・企業を通して私たちにできること。

【ゲスト】「世界の子どもに7777円を」 JICA 関西関係者

【備考欄】

<各プロジェクト紹介>

Project Number :

8

【SDGs】



【プロジェクト名】

ヤクルトの商品で健康を守る。

【具体的な内容】

- ・ヤクルトの商品から腸や体の健康を守ること。
- ・腸などの仕組みを知って腸の健康について考える。
- ・自分たちは腸などについて話して、自分たちでできることを見つける。

～理由～

- ・自分たちが調べていた福祉のSDGsの目標とヤクルトさんの目指している目標が「自分たちの力で健康を守る」という点で同じだったから。

【関連キーワード】

ヤクルト、腸

【備考欄】

- ・聞きたいことや質問を考えておいてください。

<各プロジェクト紹介>

Project Number :

9

【SDGs】



【プロジェクト名】

すべての人に健康と福祉を!!

【具体的な内容】

このテーマにした理由は、妹が喘息で、毎日みている
いつ発作が出るかわからなくてみている、喘息が苦しそうで
速く喘息をなおしてあげたいと思、選び世界中の子どもたちに
元気になってもらえるようにえらびました。

今、活動していることは、世界で苦しんでいる人が1分、1秒でも
速く元気になれるように難病や病気についてを調べて速くでも元気に
なる方法を探しています。

【関連キーワード】




難病、病気、苦しんでいる人たちのために!!

【備考欄】

ホスターセッション

<各プロジェクト紹介>

Project Number : 10

<p>【SDGs】</p>   	
<p>【プロジェクト名】</p> <p>世界の貧困</p>	
<p>【具体的な内容】</p> <p>TVや広告などで、発展途上国へ募金をしようとかをよく見るけど、それらの国がどのくらい深刻な状態なのか、その募金したお金はどうやって貧困の人々の助けになっているのか、知りたいと思い活動を始めました。</p> <p>私たちがあるアクショニをおこなったので、その結果から学んだことを発表します。</p>	
<p>【関連キーワード】</p> <p>JICA、青年海外協力隊、飢餓</p>	
<p>【備考欄】</p> <p>1107-ポイント</p>	

<各プロジェクト紹介>

Project Number :

11

【SDGs】



【プロジェクト名】

すべての子どもにワクチンを

【具体的な内容】

世界にはワクチンを必要としている子ども達がたくさんいます。その情報をパソコンで見ました。そして、自分たちならこの団体にちょっとでも協力出来るな、と思い手伝わせてもらう事にしました。そこで募金箱を設置させてもらっています。今はあつあつお母さんでどれだけの子を手助け出来るかを楽しみにしています。

・募金箱の設置をした。

・募金活動などを行ったり、自分も進んで募金をした。と思っています。

【関連キーワード】

救う ワクチン 命

【備考欄】

分科会

E

会場：「3F 少人数教室2」

【分科会テーマ】



LOVE BEYOND GENDERS
～LGBTの権利を守るために～

【詳細】

- ① LGBTsの権利を守るためにできることは何か考える。
- ② そもそもLGBTとは何なのか考えていく。
- ③ みんなにLGBTのことについて知らせる。

【活動報告会について】

- ① 今までの言周べた結果など、自分たちの成長具合 (約10分程度)
② グループ
- ② 活動かほまたことをふまえての手とめ など (約30分程度)
③ グループ

【協議会について】

- ① LGBTsのために何かできるのか。
- ② 世界には色々な人がいるという事を理解する。

【ゲスト】 枚方市人権政策室 他

【備考欄】

<各プロジェクト紹介>

Project Number : 12

【SDGs】



【プロジェクト名】 LGBTsの人達の気持ちをつしでも理解するための情報を集める

【具体的な内容】

- プロジェクトを立ち上げた理由は学校で話されたLGBTsの話が「しかり」にくく調べたいと思ったから
- これまではネットや本で情報を集めていた
- 成果は始めよりも知識が増えた
- 課題はこの知識をどこで使うかを決めていないのと本などの文章だけでは心の込もった本人の気持ちか「理解しにくい

【関連キーワード】

LGBTs , 差別

【備考欄】

私達は探究をメインに活動しています

<各プロジェクト紹介>

Project Number :

13

【SDGs】



【プロジェクト名】

LOVE BEYOND GENDERS

～LGBTの権利を守る～

【具体的な内容】のテーマ設定の理由

・LGBTについてメディアであまり取り上げられてないから。

・学校でも関心がつきにくいテーマだから。

◎ 今までの活動

・アムネスティインターナショナルジャパンの方に話を聞きに行った。

・井上鈴佳さんに話を聞きに行った。

【関連キーワード】

不平等, LGBT, 差別

【備考欄】

LGBTについて知識がない方でも大歓迎です!!

分科会 F

会 場：「3F 視聴覚教室2」

【分科会テーマ】



科学と地球のあり方

【詳細】

持続可能な自然や
社会を支えるICTについて
面白く分かりやすく説明します。

【活動報告会について】

今まで私達が活動の中で見つけた成果について
事実や目標も合わせて発表します。

【協議会について】




科学技術のプロとJICAの特派員と共に、今ある
課題を解決する糸口をみつけ出したいと思います。

【ゲスト】 JICA青年海外協力隊(現地より)

【備考欄】

<各プロジェクト紹介>

Project Number : 14

【SDGs】			
【プロジェクト名】 <h1>科学と貧困～時々経済～</h1>			
【具体的な内容】 私達は、科学技術を通して、経済の発展を実現できるのではないかと考えました。 そしてその代表としてNTT西日本にメールでいくつか質問をし、その解答から現代の課題を見つけ出し、対策を考え出しました。 その活動により、経済を発展させられるのかについて皆さんと協言議したいと思ひます。			
【関連キーワード】 ICT、技術革新、経済発展、貧困			
【備考欄】			

<各プロジェクト紹介>

Project Number : 15

【SDGs】



【プロジェクト名】

持続可能な自然と人類の在り方

【具体的な内容】

二酸化炭素を排出しない発電法. 日本では8割が火力発電で賄われている. 電気は人類にとって大切なエネルギーでも火力発電で賄われている電気は地球温暖化の原因となっている. このためにCO₂の排出しない発電方法が必要. なおかつ莫大な電力を発電する発電機が必要. このように電気エネルギーを安定に供給することが今後の課題となるだろう. この問題についての発表をする.

発表時間 10分

【関連キーワード】

地球 人類 救済 電気エネルギー

【備考欄】

SDGs, 地球温暖化, 砂漠化, 海面上昇, CO₂, 持続可能なエネルギー, 核融合エネルギー

【分科会テーマ】



地球を救う

ヒーローになろう!!

【詳細】

この会場では今の環境について知り、
今後私たちに何ができるのかを話し合い
の中で考えます。

【活動報告会について】

- ① 海と陸についての現状 17
- ② 気候変動について 16
- ③ プラスチックについての現状 18

□ = グループ番号

【協議会について】

〈議論内容〉 海に流れるゴミや地球環境を
どう改善していくか

〈必要知識〉 地球環境への思い。
ほんの少しでも関心のある人!!

【ゲスト】 京都大学教授(予定), 枚方市環境保全課

【備考欄】 今日たくさんの発表を聴いて私たち
1人1人にできることを一緒に考えて
いきましょう。 Let's think!

<各プロジェクト紹介>

Project Number : 16

【SDGs】



【プロジェクト名】

節電の重要性をポスターを使って広める

【具体的な内容】

一番自分たちの生活に影響が出そう
だと思ったから知るべきだと思った。
市役所と小学校にポスターを貼る。
公共の場所でポスターを貼ることで、
多くの人に見てもらえた。でも、そこから
行動に移してもらえるか分からないので、
どうすれば行動までしてもらえるか考える。

【関連キーワード】

地球温暖化、気候変動

【備考欄】

<各プロジェクト紹介>

Project Number :

17

【SDGs】



【プロジェクト名】

未来のために海と陸の豊かさを守ろう。

【具体的な内容】

。海で現在おこっている現象や問題
海が汚くなると人間の生活にも支障が出るから。

これまで私達は船橋川の清掃と現在の海の問題と
その問題が人間に与える影響などを調べてきました。
海に興味がある人やあまりSDGsを知らないでも気軽に
来て少しでもSDGsに興味を持ってくれれば嬉しいです。

【関連キーワード】

海・陸

【備考欄】

頑張ってますので気軽に来てくれたら嬉しいです。
質問もメディアもどんどんお願いします。待ってます。

<各プロジェクト紹介>

Project Number : 18

【SDGs】



【プロジェクト名】

脱プラ life へいそげ!!

～ 私たちに今できる事を知り、プラスチック削減に繋げる～

【具体的な内容】

〈テーマ理由〉 TVでプラスチックの現状を知ったのがきっかけ。
この問題はとても身近で生活に大きく関わっているから。

〈これまでの活動〉 レジ袋をもらわない
マイバック、水筒の持参
プラスチックスマートへの参加

〈課題と今後〉 人々の問題に対する認知度を高めて
いく必要がある。そして今回のようなイベント
を通して知ってもらおう。
これからは私たちの生活とプラスチックに
ついてどのようにアプローチしていくか考えていく。

【関連キーワード】

3R + Renewable / Plastics Smart

【備考欄】

今日この問題について一緒に考える
中で私生活とどう関わるか予想してみよう!!

分科会 H

会 場：「4F 視聴覚教室1」

【分科会テーマ】



士也王球の豊かさを守ろう!!

【詳細】

写真を見せながらわたしたちが冬休みにした再リ
糸旦みを発表するのにくわえてパルグループ本業で
得た小情報を使って今後わたしたちはどうしてい
なければならぬのかをみんなに伝える!!

【活動報告会について】

。わたしたちの身近にあるものが実は世界を汚し
ていることを知ってもらい、考え今の地球の環境の
現状とそれに対する対策を知ってもらう。

【協議会について】

。どのようにしたら今の地球環境の現状をよ
くできるのか、私たちの将来のために中学生の
私たちが今できる対策などについて一緒に
考えてもらう。

【ゲスト】 枚方市環境保全課

【備考欄】

<各プロジェクト紹介>

Project Number :

19

【SDGs】



【プロジェクト名】

地球温暖化対策について
自分たちができることを知ってもらおう。

【具体的な内容】

(テーマを選んだ理由) いま、よく知られている地球温暖化に、自分たち中学生ができることは何かあるかと思っ、このテーマにしました。

(内容) 自分たち中学生にできることを知ってもらい、他にもできることがあれば教えてもらう。

(課題) 一人がして、地球温暖化をやめさせることは、あまりなく、私たち中学生にできることは、限られていること。

【関連キーワード】

地球温暖化、生物の絶滅

【備考欄】

いっしょに地球温暖化をやめさせる対策を
考えていきましょう。

<各プロジェクト紹介>

Project Number : 20

【SDGs】



【プロジェクト名】

世界の豊かさを守ろう

【具体的な内容】

(発表内容)

今、世界の海や陸の状況はどうなっているのか
冬休みわたしたちがしてきた活動などを発表します。

(このテーマを選んだ理由)

世界でグレート・トゥーン・ベリさんが王業士争のために単もって
いるのを見て、子供共の発言の影響も持てたものじゃない
なと思っ彼女と同じ王業士争について調べようと思った。

(みんなに一言)

世界を豊かさにするというのは一人では不可能だけど
それをみんながするとそれは可能になります。
なので大きな課題は一人で悩まず協力し合おう!

【関連キーワード】

リデュース, 生物の絶滅, リサイクル.

【備考欄】 定期的にゴミ拾いをする, ビニール袋をもら
わないようにする。ペットボトルに入っているものを買わないように
してリサイクルする。

【分科会テーマ】



身近な環境の改善から子どもたちを救う。

【詳細】

なぜこのテーマにしたかという点のテーマは身近な問題でもあり世界的にもとりあげられているからです。

ゴミの換金で募金したり、ポスターで環境問題をうたえ、そして募金をつくり、かんきょうや、世界の子どもたちをすくう！

【活動報告会について】

今までにはなかったことは、空き缶をあつめて少額金額でも1万円や、栄養のある食料をつくらせ、かつたりして子どもたちへ配るといけることができたの？換金はいし。

枚方市の環境保全課に電話をして、自分たちができることや現在の環境について調べた。

【協議会について】

これを行うことは、ポスターを設置して、現在の環境について訴え、募金をつくり、世界の子どもたちを救うことをする。

これから、換金したお金を募金したり、実際ゴミを拾ってこの町のゴミの多さをじゃかんして、ゴミがすてかゆ、おれいかんきょうにするようにポスターや、ゴミをひろいかんきんし、募金をします。

【ゲスト】 大阪ユニセフ協会

【備考欄】 話をよくきいて、僕たちのテーマについて少しでも興味をもってくださることを願っています。

<各プロジェクト紹介>

Project Number : 21

【SDGs】



【プロジェクト名】

ONE TEAM ～ 失われた過去を取り戻そう～

【具体的な内容】

①なぜこのテーマを選んだのか

・身近に感じられて、世界的にも問題となっていることだから。

②今までしてきたこと

・環境問題について調べた。・枚方市環境保全課に電話をした。
→自分たちにできること、今の環境問題について聞いた。

③これからすること

・ポスターを作り、環境問題を訴える。
→募金やゴミの分別。

④発表の内容

・自分達の活動を通じて気付いたこと。
・この先の活動でやりたいこと。

【関連キーワード】

地球温暖化・募金

【備考欄】

環境問題について関心を持ってもらえるように
頑張っ、て発表します!

<各プロジェクト紹介>

Project Number : 22

【SDGs】



【プロジェクト名】

Two Goals 1 ゴミ収集がきれいな街を取り戻す
↳ 地域のゴミ拾い
2 ゴミの換金で得たお金で世界の医療を支援する。
↳ 換金で得たお金をUNICEFに募金

【具体的な内容】

ゴミ拾いをして、その集めたゴミを換金して、そのお金を募金する。

主にアルミ缶など。

工業団地全体をゴミ拾いして、換金できるゴミと換金できないゴミで分ける。

ゴミの量を測って、どれだけ集めたかを確認する。

—活動の理由—
・身近にできることから始めることが大事だと思い、ゴミ拾いを始めた
↓
・身近なゴミから、世界の子供たちを助けられることを考えた!!

【関連キーワード】

地方公共団体, 寄付

【備考欄】

ゴミ拾いをして、少しでも街をきれいにできるように頑張ります。

